

[◀ 戻る](#)[leftrightarrow サンプルコード](#)[leftrightarrow 問題FAQ](#)

「消費期限」 / 難易度 : 4

問題タイプ: コーディング問題 目標タイム: 40分 アルゴリズム / データ構造

問題文

あなたはスーパーで食品管理の仕事をしています。
今日も倉庫内の在庫数をしていると見慣れない箱があります。
開けてみるとなんとそこには箱いっぱいの大福が入っていました。

このままでは大変だと慌てて陳列を始めましたが、予想される販売数は 1 日 N 個です。
食料品なので勿論消費期限があり、消費期限が切れた物を売るわけにはいきません。もったいないですが消費期限の過ぎたものは廃棄します。
とにかく急いで消費期限の近い大福から売っていくことにしました。

消費期限ごとに分けられた大福のグループ数 $Group$ 、 i 番目のグループの消費期限までの残り日数 D_i 、その数 G_i が与えられます。
1 日 N 個、常に消費期限の近い物から順に売っていくと仮定した場合、"廃棄しなければならない大福の個数"を出力してください。

入力される値

```
N Group
D_1 G_1
D_2 G_2
:
D_Group G_Group
```

- N : 一日に売れる大福の予想数
- $Group$: 消費期限毎に分けたグループ数
- D_i : i 番目のグループの消費期限が残り何日か（残り 0 日のものは今日が消費期限とする）
- G_i : i 番目の消費期限となっている大福の個数

期待される出力値

廃棄しなければならないことが予想される大福の個数

制約

- $N, Group, D_i, G_i$: 整数
- $1 \leq N, Group \leq 10^4$
- $0 \leq D_i \leq 10^4$
- $1 \leq G_i \leq 10^5$
- 同じ消費期限のグループは 1 つのみ

ポイント

サンプルケース1

入力値 行数: 4

```
6 2
0 7
1 5
```

出力値 行数: 2

```
1
```

サンプルケース2

入力値 行数: 4

```
6 2
0 5
1 7
```

出力値 行数: 2

```
0
```

サンプルケース3

入力値 行数: 7

```
24 5
1 5
0 12
2 64
```

出力値 行数: 2

```
1299
```

テストする

- D_i が昇順に並んでいるとは限りません。
必要ならばソートを行ってください。

サンプルケース1

入力値

6 2
0 7
1 5

期待される出力値

1

説明

大福をグループ毎に分けると 2 つのグループができました。
消費期限が今日のグループが 7 個
消費期限が明日のグループが 5 個
あります。
大福の 1 日の販売予測量は 6 個です。
残念ながら今日が消費期限の大福は 1 個廃棄しなければならないことが
予想されます。

サンプルケース2

入力値

6 2
0 5
1 7

期待される出力値

0

説明

1 日の販売予想数は 6 個です。
今日が消費期限の大福が 5 個、明日が消費期限の大福が 7 個あります。
今日が期限の大福をすべて売り切ってもまだ 1 個売れそうなので、明日
が賞味期限の物を 1 個売ります。
翌日に 6 個売る事が予想されるので、廃棄予想数は 0 です。

サンプルケース3

入力値

24 5
1 5
0 12
2 64
5 3
365 9999

期待される出力値

1299

説明

D_i が消費期限の速い順で入力されるとは限りません。

配置変更

C++ ▾



```
1 /* CやC++などシェルに実行結果コード返却を明示する言語を利用する場合 基本的に0を返却してください。 */  
2 #include <iostream>  
3 #include <string>  
4 using namespace std;  
5  
6 int main()  
7 {  
8     string s;  
9     cin >> s;  
10    cout << s << endl;  
11    return 0;  
12 }
```

コードを提出する

2017 444 Inc. all rights reserved